



友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 第 25 号
(2018年2月10日発行)
発行責任者：近藤 三千代
編集人：阿部 亜紀

研修生の熱気で寒さも吹き飛ばす 友愛の丘研修 利用ぞくぞくと

この時期の友愛の丘は、雪も降り大変寒いですが、研修生の声で活気あふれるエネルギッシュな時期でもあります。リーダー教育の新任役員研修会、中央労働大学、専門教育の交渉力強化団体交渉講座、心に響くプレゼン講座など本部研修をはじめ、各組合の研修や会議も数多く開催され、友愛の丘の利用が続いています。

今年1月は、5つの組合に友愛の丘を利用いただいています。1か月で5組合の利用は、研修会のピークとなる夏場に次ぐ多さです。厳しい寒さが続く毎日ですが、はじける研修生の熱気が寒さを吹き飛ばしてくれています。

敬遠されがちな冬場の友愛の丘ですが、ぜひ足を運んでみてください。冬場ならではの力強さを、体感していただけます。

本部研修

直近の本部研修の中から、今回は専門教育を紹介します。賃上げ交渉に向けてこの時期に行われる「交渉力強化団体交渉講座」と、定員にすぐ達する人気の「心に響くプレゼン講座」です。

「第6期 交渉力強化団体交渉講座」しっかりとした理論と根拠の大切さを学ぶ

12月11日(月)～13日(水)、模擬団体交渉を通して、交渉の知識や技術を学び交渉力を強化することを目的とした「交渉力強化団体交渉講座」を開催しました。

張り詰めた独特の空気の中、トレーナー扮する会社側と白熱した交渉を繰り広げました。

研修生の声では、「労使対等の交渉をするために、しっかりとした理論と根拠に基づいて行わなければならないと感じた。」「会社側に



真剣な面持ちで回答を受け取る様子

主導権を握られないように、自分たちの主張が十分できるようにしたい。」とこれからの団体交渉に向けて、前向きな意見がよせられました。

今後の団体交渉、大変期待が持てます。



模擬中央委員会の開催



会社側の意見を聞き、次の発言に備える研修生

「第11期 心に響くプレゼン講座」学んだスキルを生かし自信をつかむ

1月15日(月)～17日(水)、聴く人の心に響く話し方の理論や、技術を学ぶことを目的とした「心に響くプレゼン講座」を開催しました。納得してもらえる話し方、伝え方はどのようなものなのかを実践を通して学びました。また、お互いのプレゼンに対して、真剣なまなざしで聴き入り、良かった所、ステップアップのポイントを交わし、お互いに技術を磨きました。

最終日のプレゼンでは、研修の総仕上げとして、各自の組合の「活動方針」をテーマとし、組合員への理解と参加、参画を呼び掛けるプレゼンを実施。自信に満ちた、それぞれ思いのこもったプレゼンとなりました。



「ここです。」としっかりアピール



身振り手振りを交え熱弁ふるう

組合研修

オリエンタルランド・フレンドシップ・ソサエティー（以下OFS）、セブン&アイグループ労連、マックスバリュ西日本労組、三菱ケミカルMR労組、ポケットカードユニオン以上5組合が1月に友愛の丘を利用しました。利用組合は、定期的に友愛の丘を利用いただいている組合や、初めて友愛の丘を利用させていただき組合などさまざま。その中で、12月と1月に連続で研修を行った、OFSの研修を紹介します。

「OFS チーフコーディネーター研修」リーダーとしてのスキルアップを目指して

1月28日（日）29日（月）の1泊2日で開催されたOFSの「チーフコーディネーター研修」は、わずか7名の少数精鋭。独自のカリキュラム内容で、スキルアップを目指し2日間密度の濃い研修でした。グループ研究では、会社から合理化提案を受けた時、組合員から組合を脱退したいと申し入れられた時、それぞれどう対応するのか、組合としての対応を全員で共有しました。



自分の班の意見を発表



ドミノを使ったカラーオセロゲーム

また、レクリエーションでは、最初緊張していたものの、体を張って楽しんでいたのが印象的です。

この研修を通して、今以上にOFSチーフコーディネーターのみなさんの心ひとつに、これからの活躍に期待します。

大寒波襲来！降り続く雪の中

退所式でみた労大生の気合い

1月21日（日）～24日（水）、第23期中央労働大学が3泊4日で行われました。組合および、地域でUAゼンセン運動を積極的に展開するトップリーダーの育成を目的としています。

研修期間中は、何度も雪が降ったりやんだりしていました。最終日の退所式には、とうとうボタン雪が降り始めました。しかし、研修生の熱い思いのもと、外での退所式を強行。労大生の心意気に身が引き締まるのを感じました。



雪が降る中退所式を行う労大生

友愛の丘 歳時記

～味噌つき～ 手作りのものを届けたい

味噌を作るために、よく煮た大豆をつくことを「味噌つき」と言います。

1月30日（火）31日（水）友愛の丘食堂で、「味噌つき」を行いました。「美味しい味噌になあれ」と、友愛の丘職員の願いが込められています。

この日仕込んだ味噌は、約250kg。1年分使われる味噌となります。

梅雨明けには、研修生に味わっていただける予定です。



ゆでた大豆と麹と塩をまぜ、味噌くり機でミンチ状へ



力をこめて大豆をかきまぜる

編集後記 今年は「隠れインフルエンザ」が流行しています。特徴は高熱が出ず、とてもわかりづらいそうです。少しでもおかしいと思ったら、病院へ行ってしっかり検査をしましょう。体調が悪いときは、自分自身無理をしないのはもちろんのこと、周りの方への配慮（やはりマスクは必需品です！）を忘れずにしましょう。（犬四郎）